

令和7年 11月吉日

関係各位

日本学術会議 臨床医学委員会 老化分科会  
委員長 荒井 秀典

## 日本学術会議 臨床医学委員会 老化分科会 提言・見解に関するアンケート調査へのご協力をお願い

謹啓 益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本学術会議臨床医学委員会・老化分科会(委員長:荒井秀典)では、これまでに発表した提言や見解を複数回にわたり発表してきました。この度、広く市民や多様な関係団体の皆さまを対象に Web アンケートという形式で、それらの認知度や社会への浸透度を把握するための調査を行いたいと願っております。

ご多用のところ誠に恐縮ではございますが、下記の要領をご確認いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、可能であれば関係する同僚や関係機関にも本調査をご紹介いただき、広く回答をお寄せいただけますと幸いです。

### 【調査の概要】

目的	日本学術会議・臨床医学委員会「老化分科会」からの提言・見解が、社会や関係者にどの程度知られ、どのように受け止められているかを明らかにし、今後の提言活動や学術的発展に役立てること。
方法	Google フォームによる Web アンケート(所要時間:約 3 分)。
内容	年代・性別・所属等の基本属性、提言・見解の認知度、自由記述を含む意見・評価。
対象者	一般住民、メディア関係者、行政担当者、学術関係者、学会関係者、日本学術会議関係者など、調査に関心をお持ちの幅広い方々。
回答期間	2025 年 11 月 11 日 ~ 12 月 11 日

### 【倫理的配慮・成果の活用】

- 回答は完全匿名で行われ、氏名や連絡先など個人を特定できる情報は収集いたしません。
- 回答はすべて研究目的のみに使用され、統計的に処理された結果のみが公表されます。
- 調査への参加は任意であり、回答を途中で中止しても不利益を被ることは一切ありません。
- 本調査の結果は、今後の学術研究や政策提言活動に反映されるとともに、学会発表や学術誌で公表される可能性があります。ただし、個々人が特定されることはありません。

### 【アンケート調査の趣旨】

日本学術会議は、発足以来、政府に対する多くの勧告・答申や、科学技術に関する意見の

発表などを通じて、多くの成果を上げてまいりました。[日本学術会議についてはこちら](#)。

本アンケートは、日本学術会議(臨床医学委員会 老化分科会)がこれまでに発表してきた以下の提言・見解について、その認知度およびご意見を伺い、今後の学術提言活動に反映させることを目的としています。

[【第25期】ウイズコロナを見据えたレジリエントな、かつ安心感ある地域づくりと医療ケア体制の再構築](#)

[【第24期】活力ある超高齢社会の構築に向けてーこれからの日本の医学・医療、そして社会のあり方ー](#)

[【第22期】超高齢社会のフロントランナー日本:これからの日本の医学・医療のあり方](#)

[【第21期】よりよい高齢社会の実現を目指して-老年学・老年医学の立場から-](#)

本調査の集計結果は、特定の個人の情報を特定できない形式で、まずは日本学術会議・臨床医学委員会 老化分科会の報告書に掲載させて頂く予定です。また、その後、学術論文の形でもまとめていく可能性もございますので、ご了解いただけますと幸いです。

### 【ご回答はこちらから】

ご協力いただける場合は、下記のリンクあるいはQRコードからアンケートフォームにアクセスしてください。

URL: <https://forms.gle/NHtq7sMTaDCJPCbM7>



謹白

### 【日本学術会議 臨床医学委員会 老化分科会 調査実施者・お問い合わせ先】

研究代表者: 飯島 勝矢 日本学術会議 臨床医学委員会 老化分科会  
東京大学 高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター  
共同研究者: 田中 友規 東京大学 高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター

【連絡先】 日本学術会議 臨床医学委員会 老化分科会  
Web 調査事務局: [event@iog.u-tokyo.ac.jp](mailto:event@iog.u-tokyo.ac.jp)